

森林環境学習について

会津若松市立第二中学校

- 1 ねらい
地域の自然や歴史、環境について体験学習を通して理解を深め、自然を愛し環境を守ることの大切さを学ぶ。
- 2 参加者
1学年（86名）
- 3 実施日
平成29年6月30日（金）
※荒天時予備日7月11日（火）
※7月11日（火）が雨天の場合 五色沼・磐梯山噴火記念館見学予定
- 4 引率者
三浦・大瀧・室井・菊池ゆ・長澤・石田・一条・青柳・菊池恵（9名）
- 5 講師
事前学習講師 教頭先生・大瀧 博先生・
現地講師 大瀧 博先生 もくもく自然塾
- 6 テーマ
『雄国沼の歴史、自然環境を知る。』
- 7 活動場所
北塩原村雄国沼周辺
- 8 移動方法
貸切大型バス2台（会津交通観光）・緊急車両2台（職員乗用車借上）
- 9 日程
前日 実施判断（校長、教頭、三浦、大瀧、菊池）
延期の場合、関係機関に電話連絡。
○バス会社、鶴ヶ城会館駐車場、もくもく自然塾
○昼休み、生徒に延期を知らせる。金曜日の普通授業。
7：15 駐車場（鶴ヶ城会館）集合・点呼
7：20 出発式（諸連絡程度）

1号車47名	1組28名 + 3組15名	三浦、大瀧、長澤、菊池
2号車47名	2組29名 + 3組14名	石田、一条、室井、写真館
緊急車両	菊池恵、青柳	

- 7：30 出発 国道49号・県道121号経由
裏磐梯「道の駅」でトイレ休憩
- 9：20 雄子沢登山口駐車場着 点呼・健康観察・準備運動後に登山開始
- 9：30 雄子沢登山口（標高約800メートル）より「せせらぎ遊歩道」登山開始
先導-もくもく自然塾・大瀧・長澤・1組・三浦、石田・2組・菊池ゆ、一条・
3組・室井・青柳
- 11：10 山小屋到着・点呼

11:20～12:00 昼食・休憩・トイレ

① 到着に時間差があるので、学級毎に昼食をとる。

[留意点]

ア. 山小屋の中及びその周辺で昼食をとり、体調確認を行う。

イ. ゴミを落とさない、食べ物の汁も落とさない。

ウ. 他の登山者へのマナーを守る。

エ. 施設使用料は、委員長がまとめて納付する。

② 集合写真撮影

12:10 コース別集合出発<1・5時間>

① コースごと整列・点呼

② ケガや体調の悪い生徒がでた場合は、山小屋周辺散策とする。監督は緊急車両担当者とする。

[ジャイアンコース (雄国山頂 標高1,231メートル)]

引率者: 先頭-大瀧、中間・長澤、最後尾-一条・青柳

[しずかちゃんコース (雄国沼散策 標高1,100メートル)]

引率者: 先頭-もくもく自然塾・菊池、中間・石田、最後尾-室井、三浦
(菊池恵・山小屋周辺監督)

13:40 山小屋着・点呼・トイレ休憩

14:00 山小屋発

先導-もくもく自然塾・大瀧・長澤・1組・三浦、石田・2組・菊池ゆ、一条・3組・室井・青柳

15:30 雄子沢登山口駐車場着 点呼

15:40 出発 裏磐梯「道の駅」トイレ休憩

17:00 駐車場着 (鶴ヶ城会館)

下車後、速やかに二中へ移動し、解散式 (諸連絡のみ)

10 持参物

- しおり 筆記用具 (ペンのみ) メモ用紙 背中に背負えるカバン 帽子 (黒色は避ける) 軍手 タオル ジャージ (学校指定半袖運動着、長袖長ズボン)
- 着替え ゴミ袋 弁当 (ゴミのでない工夫) 飲料水 (ゆとりのある量)
- 高カロリーの固形携行食 (下山完了まで保管)
- はき慣れた運動靴 (汚れても濡れてもよい、すべらないもの。またはトレッキングシューズや靴底が厚くハイカットの靴がある人はそれでもよい。)
- カッパや夏用ウインドブレーカーなど雨を通さない物 (傘は使わない)
- 自分の薬品 (虫よけスプレー、帰りの酔止め薬、頭痛薬、胃薬、下痢止等必要な物)
- トレッキング用のストックを持っていても良いが自己責任で管理すること。
- カメラを持っていても良いが自己責任で管理すること。
- 学年持参物 トランシーバー7機、無線、ゴミ袋、AED、医薬品 (傷バン、虫さされ等引率者それぞれに持つ)、カメラ

11 必要経費

バス代 172,800円

森林環境学習交付金 (市補助) ▽ 80,000円

わくわく自然塾・講師料 19,000円

山小屋使用料 9,500円

雑費 4,750円

予備費 11,286円

合計 137,336円

(生徒一人あたり 1,500円 学年会費で集金済 合計129,000円)

(引率者集金 合計 8,336円)

12 事前・事後学習

(1) 説明会・講演会・レポート作成

	活動内容	備考
①	6月12日(月) 6校時 ・森林学習について (菊池) ・講演(40分) 「森林環境について、マナーと緊急時の対応について」	はだしの広場 講師 大瀧 博先生
②	6月20日(火) 6校時 「裏磐梯の自然・地形・歴史、雄国沼散策について」 ・残り5分 選択コース希望アンケート	はだしの広場 講師 教頭先生
③	6月28日(水) 学年集会 ・準備物や注意事項など事前指導	はだしの広場
④	7月3日(月)(2時間) ・個人レポート作成をする。	

(2) 掲示教育

① 掲示内容

ア 裏磐梯の生物(動物・植物) イ 磐梯朝日国立公園 ウ 湿原の形成

② 掲示場所

ア 英語メディア(1学年の生活エリア)

13 緊急の場合の対応

(1) 緊急車両

① 雄子沢駐車場に車両を待機させる。

(2) ケガ・病気への対応

① 登山当日までに、骨折などで登山できない場合
学校で学習(会議室)

② 登山前に具合が悪くなった場合
バスに待機し、緊急車両担当者が付きそう。

③ 登山中に軽いけがをした場合
引率者それぞれが持つ薬品で応急処置

④ 登山中に登山を続けられないようなけがや病気の場合

下山し、緊急車両にて病院へ搬送する。その際は緊急車両担当者とは他1名の教諭で下山する。

⑤ 動けなくなるようなけがや病気の場合

引率教師が背負える場合には、背負って下山する。その際は教諭2名以上の対応とする。または、近くの引率教師に託して、引率教師一人が連絡のため、携帯電話が通じるところまで下山し、消防署などに救助を要請する。

(3) 地震発生時

① 発生規模や下山ルート状況によっては一切の活動を中止し、適切な下山方法を検討する。

(4) 選択コース活動中における登山グループと湿原グループ間の連絡方法

① 三浦先生(1台) 雄国沼担当者(2台)・雄国山登山担当者(2台)・養護教諭(1台)・山小屋担当者(1台)はトランシーバーを携帯する。

(5) 天候急変時

① 雷雨・濃霧発生時は行程を中止し、状況に応じて待機または下山する。

14 定時投薬が必要な生徒への対応

- (1) 養護教諭と行動を一緒にする。
- (2) 登山途中で簡易な仕切を設営し、定時に落ち着いて投薬できるように配慮する。

15 登山時の安全確保

(1) 野生生物について

- ① 人間が集団で行動し、熊鈴を付けていても、被害に遭う事例が発生している。登山道及びその周辺の樹皮の爪痕やフンなどの痕跡よく観察する。また、遭遇時の対応を事前学習時に周知させておく。
- ② スズメバチの巣近くでのフォバリングや警戒音に注意し、発見時は近づかないように後続者に伝達する。
- ③ ウルシが山道にある場合には、注意を後続者に伝達する。

(2) 遭難事故防止

- ① 学校行事の登山において遭難事故が発生しているので、点呼を確実に行う。
- ② 登山中の人員の間隔を広くしない。また、適切に休息を入れて集団の態勢を整える。
- ③ 最後尾の引率者より後に生徒を残さない。

16 関係機関一覧

関係機関	電話番号	備考
会津若松市教育委員会	0242-39-1303	
会津教育事務所学校教育課	0242-29-5320	
バス委託業者	0242-24-6611	会津交通
鶴ヶ城会館	0242-28-2288	駐車場借用
もくもく自然塾	0241-23-9018	裏磐梯
サイトウ写真館	0241-24-0567	
福島県立医科大学会津医療センター	0242-75-2100	河東町谷沢字前田 21 番地 2
猪苗代町立猪苗代病院	0242-62-2350	猪苗代町大字千代田字中島 26-2